

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験(前期)

試験科目名	専門試験(心理学研究室)
出題の意図	心理学, 心理学研究法, 統計学の考え方, 基本的な用語・概念, 心理学の発展に貢献した人物についての知識を問うために「語句問題」を課す。また, それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力, 基礎的な実験を計画する力, 特定の実験方法・データ分析を客観的に評価したり対案を出したりする力, 統計学の基礎的知識を応用する力, さらに実際データを分析し結果を解釈する力などを問うために「文章問題」を課す。

2026 年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 心理学 全 2 枚のうち 1 枚目

この試験では、試験問題 2 枚、解答用紙 6 枚を配付する。

解答用紙は全部で 6 枚ある。問 1 から問 3 については、それぞれ 1 枚ずつ解答用紙を用いること。問 4 は 8 つの用語のうち 5 つを選択したうえで、まとめて 1 枚の解答用紙を用いること。残り 2 枚は下書き用とする。

次の全ての問について解答しなさい。

問 1 ある対象を見ている時に、自分の視線を動かしても、見ている対象が動いても、同じように網膜像は変化する。それにもかかわらず、ヒトは自分が眼を動かしたのか、対象が動いたのかを区別することができる。このメカニズムについて考察しなさい。

問 2・1. 次の研究 A, B の要約を読み、それぞれがもつ問題点を指摘しなさい。

問 2・2. 研究 A, B それぞれの改善案を示しなさい。

A 軽い運動が不安や抑うつを軽減することが知られている。本研究では音楽に合わせたタップダンスが心理的健康を増進させるという仮説を立てた。タップダンスは呼吸に関する感覚を高め、健康にポジティブな効果を生じると予測した。参加者(N=20)は、15 分間の介入セッションで、タップダンスをする条件と、タップダンスの動画を見る(統制)条件のいずれかに無作為に割り当てられた。タップダンス条件の参加者は動画を見ながら同じように踊った。統制条件の参加者は踊らずに、タップダンス条件と同じ動画を視聴した。介入の前後で、質問紙によって呼吸に関する感覚と不安、抑うつを測定した。その結果、タップダンスは不安と抑うつを軽減することがわかった。このタップダンスの効果は、呼吸に関する感覚受容の程度が媒介していた。この結果から、タップダンスは呼吸に関する感覚を媒介し、不安や抑うつを効果的に軽減すると結論した。

B 大学生にとって、大学への思い入れとしてのエンゲージメントは、学業成績を左右する重要な決定要因である。本研究は、教育プログラムの多様性と革新性で注目されている、ある私立大学の学生エンゲージメントと学業成績の関係を 1 回の調査で調べた。研究にはこの私立大学の学部生 2,000 名が参加した。デモグラフィック変数、エンゲージメントの下位成分、学習環境とその認知、生活態度を測定した。学業成績は本人の承諾を得て GPA を参照した。その結果、約 85% の学生が高いエンゲージメントを持ち、特に行動面でのエンゲージメントが最も高いことがわかった。学年、学部の種類、校舎の設備充実度から学業成績とエンゲージメントを有意に予測できた。この結果は、私立大学での学生エンゲージメントを高めるためには校舎の設備を充実させ、学業成績を向上させることが重要であることを示している。

問 3 5 人の学生について、下記のとおり勉強時間 (X) とテストの得点 (Y) を得た。このデータに基づいて下記の問いに答えなさい。

生徒 1: $X = 10, Y = 9$

生徒 2: $X = 8, Y = 7$

生徒 3: $X = 5, Y = 5$

生徒 4: $X = 6, Y = 4$

生徒 5: $X = 7, Y = 6$

- (1) X と Y それぞれの不偏分散を求めなさい。
- (2) X と Y のピアソンの積率相関係数を求めなさい。
- (3) X から Y を予測する回帰式を求めなさい。

問 4 次の語句や人物を簡単に説明しなさい。ただし下記 8 項目のうち 5 つを選択して解答すること。(5 つを超えて解答した場合、点数の上位から 5 つ分のみを最終成績の対象とする。)

- (1) ヤーキーズ・ドットソンの法則 (Yerkes-Dodson's law)
- (2) リンゲルマン効果 (Ringelmann effect)
- (3) 内因性光感受性神経節細胞 (intrinsically photosensitive retinal ganglion cell; ipRGC)
- (4) 耳小骨 (ossicles)
- (5) 角回 (angular gyrus)
- (6) 不気味の谷現象 (uncanny valley phenomenon)
- (7) ノンパラメトリック検定 (nonparametric test)
- (8) S.S. スティーブンス (S. S. Stevens)